

# 北海道いるか・くじら110番事業

活動地域  北海道



解剖調査ワークショップの様子

## 課題

収入が不安定で漂着鯨類調査資金や専従職員雇用資金が十分でなく、運営や調査出動の継続に不安があった。また、沿岸に住む一般市民への活動内容周知も不十分であった。

## 目標

市民からの鯨類漂着通報をもとに得た標本を活用することで鯨類研究の発展に貢献し、その成果を市民に伝えることで、市民の鯨類や海洋生態系への理解をより深める。

## 今後の展望

調査専用車両の導入により受報～出動までの時間が短縮し、標本取得率の上昇が期待できる。当初計画以上の成果があったアウトリーチ活動については、今後も方向性を保ち、継続していきたい。

つづける助成

1年目

調査研究

## 活動内容と成果

- 本年度の漂着鯨類通報件数は112件113頭であり、全件をホームページにて公表した。標本の取得率は44%であった
- 登録調査員は50人に増え、登録調査員や鯨類研究を志す学生を対象とした解剖調査ワークショップを行った
- ストランディングネットワーク北海道主催の市民向け講演会「くじら講座」のほかに3件の講演会を行い、当初計画よりもはるかに多くのアウトリーチ活動を行うことができた
- クラウドファンディングを達成し調査専用車両の導入が決まった。課題であった標本取得率の上昇が期待される



会場が満員となった  
第1回くじら講座

今年度の通報件数 **112件**

普及啓発イベントの  
総参加者数 **248人**

今年度計画の達成度 **90%**

全体計画の達成度 **35%**

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

普段鯨類や海洋の情報に触れる機会のない方々に、団体の活動を知ってもらう方法を模索することに苦勞した。

### ■工夫した点

調査車両購入のクラウドファンディング実施をきっかけに、Twitterで団体紹介や日々の活動紹介等の広報活動を強化した。

〒041-8611

北海道函館市港町3丁目1-1

北海道大学水産学部内

電話：090-1380-2336

E-mail：kujira110@gmail.com

HP：http://kujira110.com/

